

■ 県道熊本高森線 4 車線化モデル地区が供用開始

県道熊本高森線(都市計画道路益城中央線)4車線化事業は、災害に強い復興まちづくりを実現するための事業の1つとして、町や熊本大学ましきラボと連携しながら、県により進められています。

3月末、先行して整備する「モデル地区」が完成し、供用を開始しました。モデル地区は、広崎地区の延長187m、安永地区の延長75mの区間です。具体的な箇所については、下図で確認してください。

モデル地区では、幅員5.5mの歩道を体験できます(車道はまだ使用できません)。

また、モデル地区以外でも福富地区の一部(延長51m)、4車線から2車線への取り付け区間となる寺迫地区の一部(延長50m)でも歩道を利用できるようになっています。

なお、事業の用地取得率は75.2%(2月末現在)です。今後も県と町が協力し、早期復興に向け取り組みます。



■ 総合体育館が完成／交流情報センターも復旧完了

熊本地震で被災し、建て替え工事を進めていた総合体育館が3月末に完成しました。今後、機器・備品の移動、調整などの作業を行い、7月から一般貸し出しを開始します。

また同様に、熊本地震で被災し、基礎杭などの修繕工事を行っていた交流情報センターの復旧も完了しています。



(左)総合体育館正面玄関側から (上)総合体育館裏側から (下)交流情報センター

